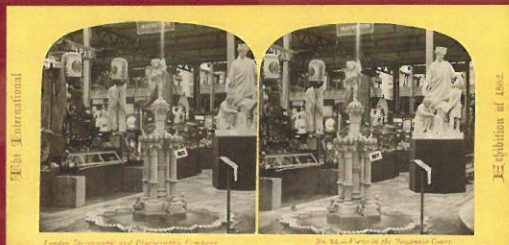
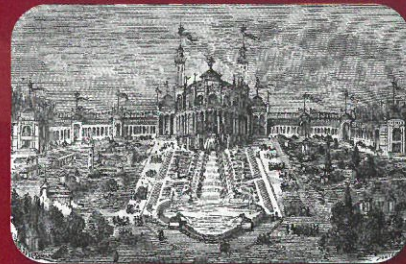




1876
フィラデルフィア



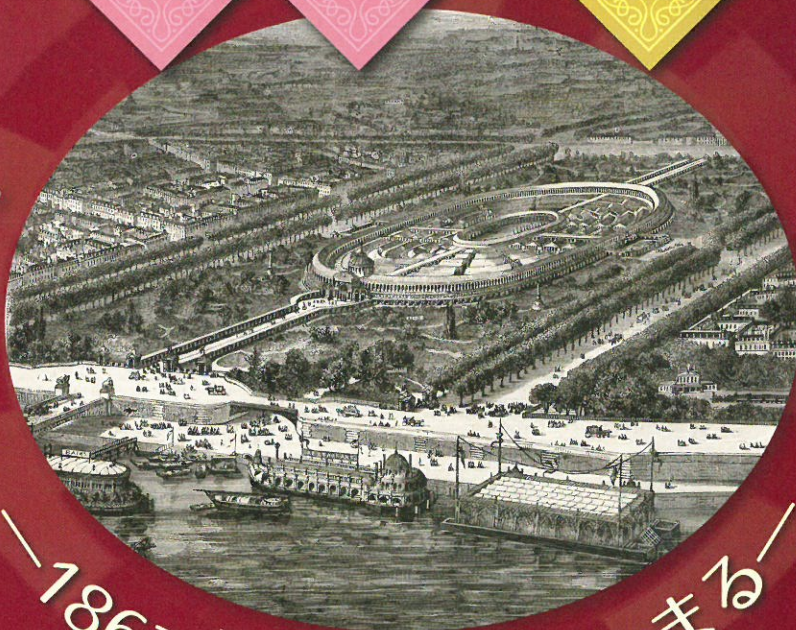
1862 ロンドン



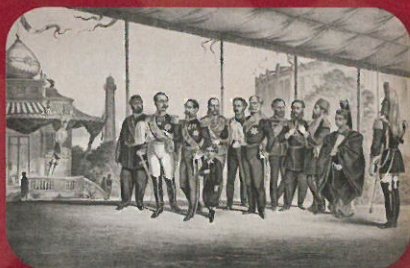
1878 パリ

EXPO's expo 通常展

万博博



—1867パリから、はじまる—



1867 パリ



1873 ウィーン



1880
メルボルン

会期 令和7年 10月4日(土) ~ 令和8年 1月12日(月祝)

松戸市戸定歴史館

EXPO's expo 通常展

万博・博

—1867
パリから、はじまる—

初公開

徳川昭武が日本の代表として参加した1867年パリ万国博覧会は、日本の国際デビューのきっかけとなりました。昭武をはじめ、昭武と共に渡欧した渋沢栄一ら万博経験者は、明治維新後の近代日本を牽引する役割を果たしました。

今回の展覧会では、昭武と、彼の「御附添」としてパリ万博に随行し、後に美術・博覧会行政の中心となった山高信離やまたかのぶあきらの視点から、1867年から1900年までの10回に及ぶ万博を紹介します。



ナイアガラ滝前の徳川昭武とその兄・土屋擧直ら(1876年6月24日)

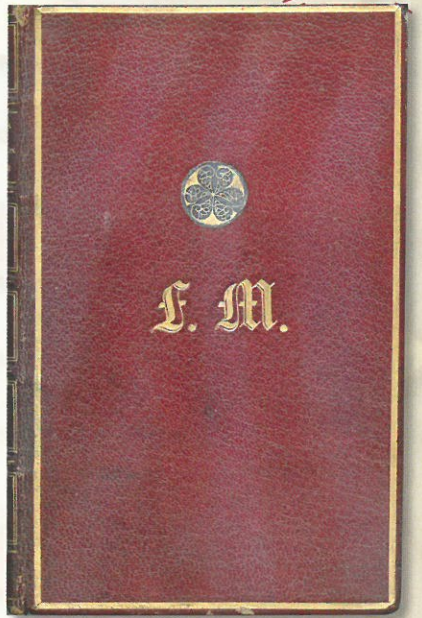


1867年パリ万博において昭武に随行した幕臣・向山隼人正のフランス語名刺

初公開



フランスにて撮影された徳川昭武写真(1867年7月5日)



1867年パリ万博終了後、馬術教師から昭武へ献呈された馬術書

初公開



山高信離写真



1867年パリ万博に参加した各国皇帝・国王(昭武は右から2番目の人物)

内務省
濠洲シトニー府博覧會事務官申付候事
明治十二年五月廿二日
内務省御用挂 山高信離

山高信離宛て辞令(濠洲シトニー府博覧會事務局申付候事)

内閣
臨時博覧會事務局鑑査官兼務被仰付
明治廿五年五月十九日
山高信離宛て辞令

山高信離宛て辞令(臨時博覧會事務局鑑査官兼務被仰付)

松戸市戸定歴史館 TOJO MUSEUM OF HISTORY

入館時間 午前9時30分～午後4時30分(午後5時閉館)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)
年末年始(12月28日から1月4日)
入館料 歴史館・戸定邸共通入館券／一般320円、



高大生160円など
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と同行者1名無料
団体(20名以上)・市内在住の70歳以上の方は団体料金適用



〒271-0092 松戸市松戸714-1 TEL. 047-362-2050 JR・京成松戸線 松戸駅東口下車徒歩約10分